

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業効果検証結果

事業No	事業名	事業の概要	実施期間		事業費(円)	事業の実績 (交付対象者数や購入物品数等の事業実績が確認できる内容を記載してください。)	事業の効果 (事業の効果について、担当課としての検証結果を記載してください。)
			事業始期	事業終期			
1	指定避難所感染症対策事業	町内の指定避難所での感染拡大防止のためパーティションを購入する。	R3.6	R3.6	3,894,000	・避難所用ワンタッチパーティションの購入。 購入数量：120張 3,894,000円	・避難所における感染拡大防止を図る上でパーティションにより避難者がそれぞれ隔離されることで避難者同士の感染拡大を防ぐ効果が期待できる。 避難所でのクラスター発生：0件(見込)
2	安全安心通学支援事業	スクールバスでの感染拡大防止のため乗車密度(6割程度)低減を図るため保護者へ送迎に係る費用を補助する。	R3.6	R4.3	327,770	・スクールバスでの感染拡大防止のため乗車密度(6割程度)低減を図るため、自家車による送迎を行った保護者に対し補助金を交付した。 交付者数：小中学校1校36名 327,770円	・自家車による送迎を行った保護者への補助金交付により、スクールバスの乗車密度の軽減に繋がり感染防止に効果があった。 スクールバス乗車密度軽減率：10% スクールバス内でのクラスター発生件数：0件
3	緊急生活支援給付金	那須町社会福祉協議会が実施する緊急小口資金または総合支援資金の貸付申請世帯の生活支援金を給付する。	R3.4	R4.3	4,000,000	・緊急小口資金または総合支援資金の貸付申請世帯へ、生活支援金を給付した。 支給額：4,000,000円 支給世帯数：80世帯 1世帯あたり支給額：5万円	・新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業等をされた生活困窮者への生活支援により、生活の維持を図ることができた。 借入資金返済不履行件数：令和5年1月から返済のため現在0件
4	那須町中小企業振興資金信用保証料補助金	中小企業振興資金制度を利用する町内の中小企業者等が負担する信用保証料を補助する。	R3.6	R4.3	9,752,452	・経営環境の厳しい中小企業に対し、町制度融資を利用しやすくなることにより、中小企業の活性化や商工業の振興・発展を図った。 補助件数：98件	・中小企業振興資金制度を利用する町内の中小企業者等が負担する信用保証料を補助することにより、事業者の資金確保に係る負担の軽減を図り、事業継続のための支援を行うことができた。 支援事業者の廃業：0件
6	店舗リフォーム補助金	業態変更や新型コロナウイルス感染症の取戻後の集客力向上等を図るための店舗リフォーム費用の補助する。	R3.4	R4.3	7,724,000	・空き店舗、空き家の有効活用の促進並びに中小企業を支援し、地域の活性化を図った。(新型コロナウイルス感染症対策のための店舗改装可) 補助件数：17件	・コロナ禍でもアフターコロナを見据えた店舗の魅力向上や感染対策防止に取り組みため、リフォームを考えた事業所は多く、町内店舗の魅力向上に効果があった。 補助事業者の廃業：0件
8	防災倉庫導入事業	新型コロナウイルス対策用備蓄品等の増加に伴う備蓄品保管倉庫を導入する。	R3.6	R3.6	2,018,500	・新型コロナウイルス感染症対策用備蓄品等の増加に伴い、備蓄品保管倉庫が必要となったため、防災備蓄倉庫を購入した。 購入数：1基(9.6㎡)	・主要避難所のすぐ近くに防災備蓄倉庫を設置したことにより感染拡大防止対策品の保管環境が整い、災害に備えた体制の構築が可能となった。 保管確保スペース：9.6㎡
9	健康ポイント事業	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等による活動不足等の解消により健康増進を図る。	R3.7	R4.3	1,699,630	・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等による活動不足等を解消し健康増進を図るため、歩数に応じてポイントを付与する事業を実施した。また、歩数に応じて2,000ポイント以上獲得した125名の方に景品を贈呈した。 参加者数：184名(20～80歳代) 健康ポイントアプリ業務委託料：1,502,347円 通信費等その他事業運営費：167,283円 事業参加者景品：98,050円	・外出機会や歩数の増加の機会に繋がり、健康増進を図ることができた。 参加者の健康状態向上率(参加者自己分析)： 56.8% (1)とても良くなった：6.6% (2)良くなった：46.0% (3)変わらない：47.4% (4)悪くなった：0.0%
10	地産地消推進事業①	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等により那須和牛の需要が減少していることから、学校給食に那須和牛を使用したメニューを提供し、食により子どもたちのコロナ疲れの回復と地元産食料の素晴らしさを伝え、子どもたちを通して各家庭内での地産地消を促進し、那須和牛の消費拡大による畜産農家を支援する。	R3.9	R3.10	654,358	・那須和牛92.4kg(町内那須和牛取扱店5店より購入) R3.9.1「九尾のちから飯」団体PR給食メニューとして提供した。なお、児童生徒からは本メニューが好評であり継続の希望が多い。 食材料費654：358円 提供人数：1,587人 町内小学校6校児童数889人+職員164人=1,053人 町内中学校2校生徒数462人+職員72人=534人	・那須和牛を給食に取り入れることで、地元においてブランド牛が町内で生産されていることを知ってもらうことができた。また、町内で生産されている農産物を積極的に消費する町内、生産者支援に繋がるということを生徒に向けて体験する機会を提供でき、今後の地産地消推進が見込める。 那須和牛認知増加数：1,587人 那須和牛消費量：92.4kg
11	地産地消推進事業②	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等により農産物の消費が低迷しており、中学生が町内の農家等を取材し、農業の大切さを学び、その魅力をマスメディアをとおして発信し、地域農業の活性化と町の魅力向上を図りながら、農産物の消費拡大による農家支援を行う。	R3.11	R4.3	660,000	・町内中学校2校の生徒6名により、「那須のヨーグルト」をテーマに町内3カ所製製造販売されているヨーグルトについて取材を重ね、ラジオ放送の番組制作に取り組んだ。 番組制作委託費：660,000円	・町内の農産物を調べ、テーマを設定して生産者と消費者をつなぐため、表現の工夫を込めて臨んだ過程は、今後町内で生産されたものへの興味と愛着が生まれ、地産地消の重要性を学ぶ機会を提供することができた。 学習機会を得た町内中学校生徒数：462人
12・13	畜産経営緊急支援事業	消費低迷による需要減に伴い経営環境が悪化していることから、和牛繁殖農家、肥育農家、酪農家の経営支援を図るための養牛導入補助する。	R4.3	R4.3	6,843,000	・優良牛整備事業の基準に該当する導入事例について補助を行った。 肉用基礎雌牛：34頭5,346,000円 肥育素牛：17頭1,183,000円 乳用基礎雌牛：4頭314,000円	・コロナ禍による生乳や牛肉の需要低迷に伴い、経営不振となっていた町内畜産農家への養牛導入補助をすることにより、経営支援と生産基盤の維持を図ることができた。 支援畜産農家の廃業件数：0件
14	地域公共交通再構築事業	新型コロナウイルス感染症や高齢化の進展により、地域公共交通ニーズが変化しており、変化に対応した新たな地域公共交通の構築が必要である。アフターコロナを見据え、持続可能な公共交通の構築を目指し、骨格となる基本的計画を策定する。	R3.6	R4.3	3,987,551	・アフターコロナを考慮しつつ、持続可能な公共交通の確保・維持を図るための「那須町地域公共交通計画」を策定した。 計画策定業務委託：3,850,000円 印刷製本費等：137,551円	・コロナ禍によるライフスタイルの変化等による公共交通の抱える問題、課題を整理し、課題解決に向けた基本方針及び推進する事業を明確化することができた。 町民バス 利用者数 10,495人(R2)→18,250人(R9) 収支率 8.3%(R2)→15%(R9) 利用者1人当たり 公的資金投入率 2,216円(R2)→1,200円(R9) デマンド型乗合交通 利用者数 6,722人(R2)→9,500人(R9) 収支率 4.7%(R2)→7%(R9) 利用者1人当たり 公的資金投入率 3,566円(R2)→2,100円(R9) 公共交通の利便性に対する住民満足度 5段階評価 2.1(R2)→3.0(R6)
15	給食会計システム導入事業	コロナ対策に伴い増加した教職員の業務や中教審答申にある学校における働き方改革への取り組みとして、教職員の負担軽減のため給食関連事務に係る会計システムを導入する。	R3.6	R4.3	1,320,000	・令和4年度からの給食会計化に向け、給食会計システムを導入した。 給食管理システム初期導入費：880,000円 就学事務システム(学齢簿)初期導入費：440,000円	・コロナ対策に伴い増加した教職員の業務や中教審答申にある学校における働き方改革への取り組みとして、教職員の負担軽減のため給食関連事務に係る会計システムを導入した。また、運用を教育委員会事務局において一括実施への変更により、教職員の負担軽減を図ることができた。
16	学校感染症対策事業①	学校における感染症拡大防止のため空調設備未整備校への設備を設置する。	R3.6	R3.9	7,040,000	・学校における感染症拡大防止のため空調設備未整備校への設備を設置工事を行った。 事業内容：小学校2校3教室：5,852,000円 中学校1校1教室：1,188,000円	・学校における感染症拡大防止のため空調設備未整備校への設備を設置工事を行った。 学校内でのクラスター発生件数：0件
17	公共施設感染症対策事業①	図書館の握り玉型からレバーハンドル型ドアノブの交換し、ドアノブ接触感染の低減化を図る。	R3.6	R3.9	224,400	・町立図書館内のドアノブを、握り玉型からレバーハンドル型ドアノブへの交換工事を行った。 箇所数：8箇所 工事費：224,400円	・握り玉型からレバーハンドル型ドアノブへの交換し、ドアノブ接触による感染症拡大の低減化を図ることができた。 当該施設内でのクラスター発生：0件
18	公共施設感染症対策事業②	①那須スイミングドーム内の排気設備を強化し、施設内感染防止を図る。	R3.6	R3.12	3,388,000	・那須スイミングドーム内の排気機更新工事を行った。 工事費：3,388,000円	・排気機を更新することでプール室内の換気機能が強化され、快適な室内環境を整えることで、感染症対策を図ることができた。 当該施設内でのクラスター発生：0件
19・60	公共施設感染症対策事業③	那須町スポーツセンター内トイレの洋式化による飛沫拡散防止措置による感染防止を図る。併せて、洋式化に伴いトイレが狭くなるためトイレブースの変更し、照明の位置変更等の改修を行う。	R3.11	R4.3	4,686,000	・那須町スポーツセンター内トイレの洋式化改修工事を行った。 トイレ洋式化数：6基 工事費：4,686,000円	・スポーツセンター内にある和式トイレ6カ所を洋式化することにより、トイレの菌化が図られ、感染拡大防止を図ることができた。 当該施設内でのクラスター発生：0件
20	団体旅行誘致プロモーション事業	宿泊・観光事業の振興を図るため、団体旅行の誘客を図る。	R3.6	R4.3	400,000	・那須地区ホテル&レジャー施設連絡協議会に委託し、教育旅行の誘致活動を行った。 事業内容：東北エリア2日間、栃木・群馬エリア2日間	・小中高等学校の教育旅行先として那須を選定していただき、団体誘客ができた。 団体誘客数：277団体(1都14県)
21	協働のまちづくり推進事業	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い地域活動が停滞していることから、取戻後の地域活性化を図るために整備した黒田原まちなか広場のパーゴラについて、日差しが強い日や雨天時でも傘を回避し安全に利用できるより利便性の向上を図るためのパーゴラ用テントを購入する。	R3.5	R3.6	226,600	・黒田原まちなか広場のパーゴラ用テントを購入した。 数量：4枚 事業費：226,600円	・新型コロナウイルス感染症取戻後の地域活性化を図るために整備した黒田原まちなか広場のパーゴラについて、日差しが強い日や雨天時でも傘を回避し安全に利用できるより利便性の向上を図るため、パーゴラ用テントを購入した。なお、利用者からも好評である。
22	公共施設感染症対策事業④	富岡集落センター内トイレの洋式化による飛沫拡散防止措置による感染防止を図る。	R3.7	R3.9	1,595,000	・富岡集落センター内トイレの洋式化工事を行った。 工事内容：トイレ洋式化4基(女子トイレ2基・男子トイレ2基) 工事費：1,595,000円	・トイレを洋式化することにより、高齢者等の利便性向上及び飛沫拡散防止措置による感染症の感染拡大防止効果が期待できる。 当該施設内でのクラスター発生件数：0件

事業No.	事業名	事業の概要	実施期間		事業費(円)	事業の実績 (交付対象者数や購入物品数等の事業実績が確認できる内容を記載してください。)	事業の効果 (事業の効果について、担当課としての検証結果を記載してください。)
			事業始期	事業終期			
23	学校感染症対策事業②	学校トイレの洋式化等による飛沫拡散防止措置による感染防止を図る。	R3.10	R4.3	18,832,000	・学校トイレの洋式化等による飛沫拡散防止措置による感染防止を図るため、和式トイレから洋式トイレに改修した。 トイレ様式化67基18,832千円 (内訳)小学校3校38基11,187千円 中学校2校29基 7,645千円	・和式トイレから洋式トイレに改修により、飛沫拡散防止が図られ、学校の感染症対策に繋がった。 学校内でのクラスター発生件数：0件
24	学校感染症対策事業③	学校における感染症拡大防止のため空調設備未整備校へ設備を設置する。	R3.10	R4.2	5,225,000	・学校における感染症拡大防止のため空調設備未整備校への設備を設置。 事業内容：空調設備2教室5,225千円 (内訳)小学校1教室1,628千円 中学校1教室3,597千円	・空調設備未設置校へのエアコン設置により、児童生徒の感染拡大防止と安全な学校生活や健康管理に繋がった。 学校内でのクラスター発生件数：0件
25	衛生対策用品整備事業①	感染症拡大防止のため、必要時に配布ができるよう衛生用品及び関連物品の購入・備蓄を行う。	R3.9	R4.3	9,089,957	・庁舎等公共施設内での感染症拡大防止のため、衛生用品の購入、備蓄を行った。 手指消毒液(10)：1,454本 手指消毒液(50)：135本 物品消毒液(500ml)：215本 物品消毒液(50)：213本 手洗い石けん(50)：148本、がけ：150枚 シャワー：100枚、手袋：554枚 マウスガード：30個、体温計：10個 バスタブカバー：3個、雑巾：160枚 ペーパー：30個、7/60噴霧器：16台 抗原検査キット：60個	・通常時のみならず緊急時にも対応できるだけの一定量の衛生用品を保管・備蓄により、コロナの発生状況や各課事業に応じて迅速かつ十分な衛生用品を提供することができた。 遅延提供回数(要望日の翌日以降提供)：0件
26	保育園保健特別対策事業①	保育園の感染症対策の充実及び保育の向上を図るための保育支援用品等の購入する。	R3.10	R3.12	2,479,350	・町立保育園における感染症拡大防止のため備品等の購入を行った。 ①プロジェクト (5台)：323,950円 (黒田原第1・第2・伊王野・千振・こども未来課) ②スクリーン (3個)：83,160円 (黒田原第2・伊王野・千振) ③HDMIケーブル5個：9,350円 (黒田原第1・第2・伊王野・千振・こども未来課) ④飛沫防止パーテーション47枚：46,530円 ⑤オートディスプレイ42組：95,760円 (黒田原第1・第2・伊王野・千振・大同・高久) ⑥保育園給食食器 (4種類・1120個)：864,600円 (黒田原第1・第2・伊王野・千振) ⑦包丁まな板消毒保管機 (3台)：1,056,000円 (黒田原第2・伊王野・千振)	①～③ 感染症拡大防止のため、集合研修からオンライン研修へ対応するためプロジェクト等を導入し、職員が各保育園で受講が可能となり、移動時間の短縮等による負担軽減が図れた。また、コロナ禍において保護者の保育参加機会の減少に対し、保護者へ、園児の日頃の様子の配信や各種情報の発信により保育園への理解醸成等と新たな生活様式への対応ができるようになった。 ④～⑥ 保育園での感染症拡大防止を図るため、パーテーションやオートディスプレイの設置したことにより、園児及び職員が安心して活動できるようになった。 ⑦ 食器購入・包丁まな板保管機の購入により、コロナ禍における衛生管理や感染対策徹底を図ることができ、安心して保育園の給食を提供することができるようになった。 保育園内でのクラスター発生件数：0件
27	保育園感染症対策事業	保育園内のトイレ洋式化による飛沫拡散防止措置、網戸設置により感染防止を図る。	R3.10	R4.3	1,177,000	・公立保育園における感染症拡大防止のための工事をを行った。 ①職員トイレ改修工事：968,000円 (伊王野保育園) ②網戸設置工事：111,100円 (千振保育園) ③網戸設置工事：97,900円 (黒田原第1保育園)	①の保育園職員のトイレの洋式化による飛沫拡散防止と②③の網戸設置による常時換気環境の確保により感染症拡大防止と、安心して保育ができる環境の整備ができた。 保育園内でのクラスター発生件数：0件
28	子育て世帯生活支援給付金	コロナ禍により収入減少に伴い生活が困難する児童扶養手当受給者及び児童手当受給世帯のうち住民税非課税世帯への生活支援のため1774名付商品券配布する。なお、経済の本格回復までの暮らし応援による地元消費の拡大による地域経済の活性化を図るため、1774名商品券を活用し、地域内での経済循環を図る。	R3.10	R3.10	158,450	・児童扶養手当受給者及び児童手当受給世帯のうち住民税非課税世帯に対して一世帯当たり2万円分の商品券を配布し、支援金給付世帯(支援金は事業No.36へ一括計上)児童手当受給世帯 175世帯 児童手当受給世帯のうち住民税非課税世帯106世帯 宅配業務委託281世帯×550円=154,550円 送付ケース300部×13円=3,900円	・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、低所得の子育て世帯に対して一世帯当たり2万円分の商品券を配布し、保護者の負担軽減だけでなく、町内事業所の経済の活性化に繋がった。 ・受給者からは商品券に対する不満の声もあったが、低所得家庭の家計への影響を軽減する効果があった。 低所得を理由に生活ができなくなってしまう世帯：0件
29	子どもたちの新生活応援給付金	コロナ禍により収入減少するなかにおいても、子ども達が次の生活ステージに進むにあたり、ランドセル等の必要品の購入等により支出の増える段階の年齢の子どもを有する保護者への経済的支援のため1774名付商品券配布する。なお、経済の本格回復までの暮らし応援による地元消費の拡大による地域経済の活性化を図るため、1774名商品券を活用し、地域内での経済循環を図る。	R3.10	R3.10	344,240	・新しい生活ステージを迎える段階の年齢の子どもを有する保護者に対し、プレミアム商品券を配布した。 給付対象者(給付金は事業No.36へ一括計上) 653名：18歳：209名、15歳：151名 12歳：151名、6歳：142名 支給額：18歳及び15歳：37万 12歳及び6歳：2万円 宅配業務委託：336,050円(611名分) 送付ケース代：8,190円	・プレミアム商品券を配布したことにより、保護者の負担軽減だけでなく、町内事業所の経済の活性化に繋がった。 給付率：100% 消費喚起効果額：事業No.36へ一括計上
30	高齢者感染予防対策	重症化リスクが高い高齢者へ衛生用品詰めセットを配布し、感染予防と意識啓発を図る。	R3.9	R3.11	7,919,474	・高齢者に衛生用品を郵送により配布した。 配布対象者：約5,000人 衛生用品：5,997,499円 郵送料：1,864,800円 その他事務経費：57,175円	・高齢者のワクチン接種が進んでいるとはいえ、全国的に感染者が増加傾向にある中、今後も新型コロナウイルス感染症対策が必要となることを踏まえた事業を行うことができた。また、敬老会が中止となったため、長寿祝儀を兼ねた配布を行うことができ、高齢者から感謝の声があった。 町内高齢者のクラスター発生件数：0件
31	赤ちゃん世帯支援事業	コロナ禍により収入減少するなかにおいても適切な子育てができるよう、R3.4.2～R4.4.1に出生した赤ちゃんがいる世帯の生活支援のため1774名付商品券配布する。なお、経済の本格回復までの暮らし応援による地元消費の拡大による地域経済の活性化を図るため、1774名商品券を活用し、地域内での経済循環を図る。	R3.10	R3.10	39,410	・R3.4.2～R4.4.1に出生した赤ちゃんがいる世帯に対し、プレミアム商品券を配布した。 支援金給付世帯(支援金は事業No.36へ一括計上) 73名(0歳児：42名・妊婦：31名) 支給額37万円 宅配業務委託：38,500円(70名分) 送付ケース代：910円	・プレミアム商品券を配布したことにより、保護者の負担軽減だけでなく、町内事業所の経済の活性化に繋がった。 給付率：100% 消費喚起効果額：事業No.36へ一括計上
32	町営住宅及び定住促進住宅家賃減免	町営住宅及び定住促進住宅の居住者うち、コロナ禍により収入が減少した世帯の世帯合計所得が10%以上減少した居住者への生活支援する。	R3.5	R4.3	1,322,490	・コロナ禍により世帯の合計所得が10%以上減少した居住者への生活支援として家賃の減免を実施した。 減免対象者：14名 減免額：1,322,490円	・家賃の減免を実施したことにより、コロナ禍により収入が減少した入居者の家賃滞納を防ぐことができた。 家賃滞納発生件数：0件
33	観光施設魅力向上事業①	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い減少した観光客等の利用者の回復を図るため、観光資源である芦野御殿山周辺の景観伐採等の一連の整備を行い、周辺施設全体の魅力向上を図り集客力アップによる地域活性化を図る。	R3.11	R4.3	2,656,323	・芦野御殿山公園の魅力向上を図るために、山頂からの景色を良くするための景観伐採と、経年劣化により老朽化した丸太柵や案内看板等の更新工事を行った。 看板撤去設置工事：716,274円 補フェンス改修工事：903,650円 伐採倒木撤去工事：350,000円 階段等設備改修工事：686,400円	・修景伐採では、山頂から芦野の田園風景が一望できるようになり、魅力向上に繋がった。また、経年劣化による案内看板や丸太柵の更新を行ったことで、公園利用者が安全に快適に利用できるようになった。 景観に関する苦情件数：0件 事故発生件数：0件
34	観光施設魅力向上事業②	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い減少した観光客等の利用者の回復を図るため、観光資源である伊王野城山公園周辺の景観伐採等の一連の整備を行い、周辺施設全体の魅力向上を図り集客力アップによる地域活性化を図る。	R3.11	R4.3	1,314,000	・伊王野城山公園の魅力向上を図るために、山頂からの景色を改善するため、伐採と剪定を行った。また、看板の補修と倒木の撤去を行った。 看板補修工事：55,000円 伐採工事：579,000円 枝木剪定工事：581,000円 倒木撤去工事：99,000円	・公園内の山頂からの景色は何も見えない状態だったが、伐採、剪定により、開けた景色になり、眺望が良くなった。また、老朽化していた看板の補修と、倒木の撤去を行うことで、公園利用者が安全に快適に利用できるようになった。 景観に関する苦情件数：0件 事故発生件数：0件
35	観光施設魅力向上事業③	観光者向け公衆トイレ改修による観光地の魅力向上を図り、集客力アップを図る。	R4.1	R4.2	1,015,190	・殺生石公衆トイレ、八幡崎公衆トイレの小便器が老朽化しており、それぞれの更新工事を行った。 殺生石公衆トイレ改修工事：660,000円 八幡崎公衆トイレ改修工事：355,190円	・小便器が老朽化しており、一部水が流れずに使用できないものもあり、観光客に不便が来ていた。小便器の更新工事を行ったことで、使用できない小便器を無くし、観光客の満足度の向上にも繋がった。 利用者からの苦情件数：0件
36	地域経済活性化事業	経済の本格回復までの暮らし応援による地元消費の拡大による地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を販売する。	R3.8	R4.3	37,047,706	・新型コロナウイルス感染症により、大きな影響を受けている地域経済の回復を図り、生活応援・消費意欲の喚起を行った。 商品券発行数：12,447部(1部10,000円分) 商品券換金額(町負担分)：33,952,950円 販売業務委託：1,815,000円 その他事業費：1,279,756円	・地域経済の回復と生活応援・消費意欲の喚起に繋がった。 消費喚起効果額：122,613,000円(プレミアム商品券換金額)

事業No.	事業名	事業の概要	実施期間		事業費(円)	事業の実績 (交付対象者数や購入物品数等の事業実績が確認できる内容を記載してください。)	事業の効果 (事業の効果について、担当課としての検証結果を記載してください。)
			事業始期	事業終期			
37	保育園保健特別対策事業②	保育園の感染症対策及び新たな保育環境の整備のため非接触型登降園管理システム及び関連設備の整備を行う。	R3.10	R4.3	3,860,052	・公立保育園(4園)及び管理担当部署に、登降園システムを導入、運用に必要なWi-Fi環境整備を実施した。 ・保育園無線LAN工事:2,916,430円 システム導入業務(トモソノカ利用料):81,400円 Wi-Fi利用料:64,302円 タブレット14台:677,600円 タブレット・キーボード14台:120,320円	・当該整備事業の実施により、コロナ発生時に保護者への緊急降園連絡発信に要する時間の短縮と、連絡に対する保護者からの応答連絡が可能となり、保育園と保護者の意思疎通が速やかに実施できたとともに、降園対応に円滑に行うことができた。 また、保育園からの情報発信のICT化によるペーパーレス化や業務の効率化により職員の負担軽減にも繋がった。 連絡発信から全保護者確認までの所要時間:1時間以内
38・61	衛生対策用品整備事業②	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、必要時に衛生用品等の即時供給が可能となるよう相当量の衛生用品等の確保・保管が必要であるが、保管・備蓄用倉庫がないことから整備を行う。	R3.10	R4.2	1,386,000	・衛生用品等保管・備蓄用倉庫を2棟設置。うち1棟についてはアルコール消毒剤の一定量の備蓄に対応するために少量危険物保管体制整備を行った。 備蓄用倉庫:1棟891,000円 少量危険物保管体制整備業務:495,000円	・通常時のみならず緊急時にも対応できるだけの一定量の衛生用品を保管・備蓄が可能となり、コロナの発生状況や各課事業に応じて迅速かつ十分に衛生用品の提供ができ、事業効果が大きい。 遅延提供回数(要望日の翌々日以降提供):0件
39	学校ICT教育推進事業	GIGAスクール構想において児童生徒用iPadの整備したが、キーボードが児童生徒の人数分未整備のため共同利用している。感染防止を図るためにも共同利用を解消する必要があることからキーボード整備を実施する。併せて、タイピング強化を図り学校ICT教育の推進を図る。	R3.10	R3.11	1,712,700	・児童生徒用iPadの整備したが、キーボードが児童生徒の人数分未整備のため共同利用している。感染防止を図るためにも共同利用を解消する必要があることからキーボード整備を実施し、併せて、タイピング強化を図り学校ICT教育の推進を図った。 事業費:1,712,700円 キーボード:450個(③3,806円)	・共同利用していたキーボードを児童生徒の人数分整備したことで、感染防止に併せて、タイピング強化が図られ、学校ICT教育の推進に繋がった。 学校内クラスター発生件数:0件
40	学校保健特別対策事業費補助金	町立小中学校の再開に係る感染症対策、新たな教育環境整備及び学習支援用品等の購入する。	R3.6	R3.11	6,853,383	・町立小中学校の再開に係る感染症対策、新たな教育環境整備及び学習支援用品等の購入 小・中学校7校×80万円=5,600千円 中学校1校×120万円=1,200千円	・学校長の判断で感染症対策に必要な物品や子どもたちの学びの保障に繋がる物品などを購入することができたことから、学校の安全な運営に大変効果があり、町の財政負担の軽減にも繋がった。 学校内でのクラスター発生件数:0件
41	那須町事業継続支援金	栃木県地域企業事業継続支援金又は経済産業省の月次支援金給付決定者へ事業継続支援金を支給する。	R3.10	R4.2	18,700,000	・事業継続支援金を次のとおり交付した。 支援交付事業者:187事業者 支援金額:1事業者あたり10万円	・新型コロナウイルス感染症の経済的影響が大きかったため、効果はあった。 支援金受給者の廃業:0件
42	地方創生テレワーク推進交付金・サテライトオフィス拠点整備事業①	地方創生テレワーク推進交付金を活用し、里田原まちづくりセンターをサテライトオフィスの拠点とするよう整備し、企業誘致や新たな働き方を推進するとともに、交流人口の増加や地域の活性化を図る。	R3.10	R4.3	32,570,978	・サテライトオフィス整備工事を実施した。 本体工事費:27,445,000円 回線工事:917,730円 看板設置工事:178,200円 給湯器リモコン修繕:32,923円 鍵シリンダー交換:69,300円 オフィス備品:3,619,000円 レジ備品:105,325円 ハウスクリーニング:203,500円	・サテライトオフィスを活用し新たな働き方を推進するにも移住定住(二地域居住)の促進を図る体制整備ができた。今後は、施設活用に向けたPR等を推進する予定である。 (R4.4.1供用開始・2024年度末KPI) ・施設を利用する企業数 6社/年 ・施設利用者数 1000人/年
44	サテライトオフィス拠点整備事業②	事業No.42の事業で整備する施設の適切な管理運営用執務室の整備及び備品を購入する。	R3.10	R4.3	5,104,000	・事業No.42の事業で整備する施設のフロア改修工事執務室事務用物品 片袖机10台、両袖机3台、デスクマット13枚、脇机3段3台、インサイドボックス13台、事務椅子13脚、テーブル1台、折畳椅子4脚、スタックキャビネット10台、ロッカー5台、ポルトレック10台の購入。	
46	庁舎内感染拡大防止対策事業	町職員の感染発生を受け、役員庁舎内感染拡大防止を図るため、飛沫防止パーテーション等の設置による感染防止対策を強化する。	R3.9	R4.2	2,068,778	・庁舎内での感染拡大防止対策用資材の購入を行った。 仕切用アクリルパネル208枚 パネルスタンド208台 パネルスタンド28台 顔認証サーモカメラ1台 二酸化炭素測定器75台等	・新型コロナウイルス感染症拡大時期に設置した、自主製作の簡易飛沫防止用品を、3ミリ厚のアクリルパネルに更新したほか、入退館者数の多い役員庁舎内に顔認証機能付き体温測定器設置等により、庁舎内で感染拡大防止に繋がった。 庁舎内クラスター発生件数:0件
47	主食用米生産者支援事業補助金①	新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等により経済活動が停滞している影響により米価が下落しているため、米作農家の経営を支援するため、支援補助金を支給する。	R3.12	R4.3	14,985,000	・町内の主食用米を作物している農業者に対して10aあたり1,000円(上限100,000円)を支援した。 認定農業者 165人 5,986,000円 30a以上 632人 8,999,000円 計 797人 14,985,000円	・新型コロナウイルス感染症の拡大の長期化に伴い、主食用米の在庫が増加し米価の大幅な下落が生じていることから、主食用米の作付けに取り組む農業者への支援により、事業の継続を図ることができた。 支援農業者の廃業件数:0件
48	主食用米生産者支援事業補助金②	新型コロナウイルス感染症拡大による経営環境悪化の影響を受けている事業者を支援するため、中小企業振興資金制度を利用する町内の中小企業等が負担する利子分の補助	R3.4	R4.3	4,106,350	・融資実行時及び次年度の融資残高に対して1%以内の利子補給補助金を交付した。 補助交付数:74件	・中小企業者をとりまく経営環境が厳しい中で1%の補助金による経営支援は、事業継続への効果は大きかった。 支援事業者の廃業:0件
50	子ども・子育て支援交付金	放課後児童クラブ内の衛生管理を行うことで、感染防止対策を講じる。	R3.10	R4.1	589,531	・放課後児童クラブ内での感染拡大防止を図るため、衛生用品等を購入した。 町内児童クラブ(7カ所) 消毒用ウエット本体7個、 詰替45個:55,959円 物品消毒本体20個、詰替38個:173,232円 手洗い石鹸40個:123,200円 750ml消毒:193,440円 携帯ウェットティッシュ115個:43,700円	・7歳~9歳の消毒関連商品は単価が高いため、各学童クラブに配布したとにより、各学童クラブの負担軽減となった。併せて、感染防止対策の意識づけにも繋がった。 当該施設内でのクラスター発生件数:0件
51	地域子供の未来応援交付金	新型コロナウイルス感染症の影響による世帯収入減少等の環境に左右されることがないよう、課題を抽出し、子ども(0歳から18歳未満の児童)に係る貧困対策推進計画を策定する。	R3.6	R4.4以降	1,341,580	・新型コロナウイルス感染症の影響による世帯収入減少等の環境に左右されることがないよう、課題を抽出し、子ども(0歳から18歳未満の児童)に係る貧困対策推進計画を策定した。 貧困対策推進計画策定業務委託:1,298,000円 委員報酬費(延人数:7名)35,000円 委員費用弁償(延人数2名)8,580円	・今まで行っていた相談事業等を計画として位置づけすることにより、施策が体制化され事業の明確化につながった。 新型コロナウイルス感染症の影響について検討することもでき、令和4年度に新規事業にて、相談できる機会を拡大する予定。 貧困世帯からの相談対応率:100%(予定)
52	学校保健特別対策事業費補助金	町立小中学校の再開に係る感染症対策、新たな教育環境整備及び学習支援用品等を購入する。	R3.12	R4.2	883,756	・町立小中学校の再開に係る感染症対策、新たな教育環境整備及び学習支援用品等の購入 補助基準額850千円 小・中学校7校×10万円=700千円 中学校1校×15万円=150千円	・学校長の判断で感染症対策に必要な物品や子どもたちの学びの保障のための資材などを購入することができたことから、学校の安全な運営に効果があった。 学校内でのクラスター発生件数:0件
53	公立学校情報機器整備費補助金	新型コロナウイルス感染症への対応の一環として、学校臨時休業等においてもICT活用により児童生徒の学びを保障できる環境を整備するため、学校の人的体制を充実させるためGIGAスクールサポーターを配置する。	R3.4	R4.4	7,736,629	・学校臨時休業等においてもICT活用により児童生徒の学びを保障できる環境を整備するため、学校の人的体制を充実させるためGIGAスクールサポーターを配置した。 No.54分:サポーター3名 3,941,816円 No.54分:サポーター3名 3,794,813円	・GIGAスクールサポーターは、ICTやパソコン関係の調整及び不具合整備等、ICTに関連する様々な状況に迅速に対応し、学校教職員の授業つくり及び児童生徒の学習確保につながり、とても効果的である。今後も継続を希望する。 ICT機器不調等による教育機会の喪失回数:0回
54	公立学校情報機器整備費補助金	新型コロナウイルス感染症への対応の一環として、学校臨時休業等においてもICT活用により児童生徒の学びを保障できる環境を整備するため、学校の人的体制を充実させるためGIGAスクールサポーターを配置する。	R3.4	R4.4	7,736,629	・学校臨時休業等においてもICT活用により児童生徒の学びを保障できる環境を整備するため、学校の人的体制を充実させるためGIGAスクールサポーターを配置した。 No.54分:サポーター3名 3,941,816円 No.54分:サポーター3名 3,794,813円	・GIGAスクールサポーターは、ICTやパソコン関係の調整及び不具合整備等、ICTに関連する様々な状況に迅速に対応し、学校教職員の授業つくり及び児童生徒の学習確保につながり、とても効果的である。今後も継続を希望する。 ICT機器不調等による教育機会の喪失回数:0回
55	文化芸術振興費補助金	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、文化センター内の換気機能を強化するため空調設備の改修を行い、感染症対策を強化する。	R3.9	R4.1	13,090,000	・文化センター内での感染拡大防止を図るため、換気機能強化するための改修工事を行った。 研修棟空調機(PAC-7)設備設置等工事 ホール棟空調機(PAC-6)設備設置等工事	・空調設備を改修することで、快適な温度調整が可能となり、室内換気等においても、快適な空間が提供できることで、感染症対策を図ることができた。 当該施設内でのクラスター発生:0件
56	疾病予防対策事業費等補助金	新型コロナウイルス感染症に対応するため、三蜜防止対策の一環として、接種者が来庁せず、予防接種状況をマイナポータルで確認できるようにする。併せて、予防接種情報の転出入時の市町村間連携が可能となるようシステムを整備した。	R3.5	R3.6	550,000	・三蜜防止対策の一環として、接種者が来庁せず、予防接種状況をマイナポータルで確認できるようにシステム改修を行った。併せて、予防接種情報の転出入時の市町村間連携が可能となるようシステムを整備した。	・接種者が来庁せず、予防接種状況をマイナポータルで確認できるようになったこと、および、予防接種情報の転出入時の市町村間連携が可能となり、今後の接種者に利便性の向上と感染症防止対策に効果が見込まれる。
57	保育対策総合支援事業費補助金	保育園における新型コロナウイルス感染症の感染拡大・集団感染防止を図るため、感染や濃厚接触者となった園児の速やかな降園ができるよう、保護者への連絡手段の構築、感染症により滞り続ける保育事務の効率化を図り保育体制の維持を図ることができ、非接触型登降園システム及び関連アプリケーションを導入する。	R4.3	R4.3	1,099,660	・保育園内での感染拡大大棒を図るため、非接触型登降園管理システム導入及び関連機器の整備を行った。 交付対象:那須高原保育園 システム導入費用:110,000円 システム導入費用:110,000円 消耗品:14,440円(LANケーブル・USBケーブルほか) 手数料:165,000円(ウェブ登録手数料) 使用料:303,600円(サービス使用料・保守料) 備品:506,620円(iPad・PC・カメラ・HD)	・ICT(登降園管理システム)を導入したことで、園児の登降園の管理や一斉メールの配信、徴収に関する事務など非接触の機会が増え、保育士の負担軽減及び保護者の感染拡大防止に繋がると感じる。 保育園内でのクラスター発生件数:0件
58	疾病予防対策事業費等補助金	新型コロナウイルス感染症に対応するため、三蜜防止対策の一環として、受診者が来庁せず健康(検)診結果をマイナポータルで確認できるようにする。そのために、健康(検)診結果等の電子化、健康(検)診実施機関からの電子情報による受領、個人の健康(検)診情報の一元化、転出入時の市町村間連携が可能となるようシステムを整備する。	R4.1	R4.3	660,000	・三蜜防止対策の一環として、受診者が来庁せず健康(検)診結果をマイナポータルで確認できるようにシステム改修を行った。そのために、健康(検)診結果等の電子化、健康(検)診実施機関からの電子情報による受領、個人の健康(検)診情報の一元化、転出入時の市町村間連携が可能となるようシステムを整備した。	・マイナンバー制度における情報連携とPHR(パーソナルヘルスレコード)…個人の健康・医療・介護に関する情報を一元的にまとめることで、個人で管理・活用できる仕組みづくりの一環として健康結果の提供ができるようになり、今後の受診者への向上と感染防止対策に効果が見込まれる。

事業 No.	事業名	事業の概要	実施期間		事業費(円)	事業の実績 (交付対象者数や購入物品数等の事業実績が確認で きる内容を記載してください。)	事業の効果 (事業の効果について、担当課としての検証結果を 記載してください。)
			事業始期	事業終期			
59	疾病予防対策事業費等補助金	新型コロナウイルス感染症に対応するため、三蜜防止対策の一環として、受診者が来庁せず、健(検)診結果をマイナポータルで確認できるようにする。その為に、健(検)診結果等の電子化、健(検)診実施機関からの電子情報による受領、個人の健(検)診情報の一元化、転出入時の市町村間引継ぎが可能となるようシステムを整備する。	R4.1	R4.3	1,210,000	・三蜜防止対策の一環として、受診者が来庁せず健(検)診結果をマイナポータルで確認できるようにシステム改修を行った。その為に、健(検)診結果等の電子化、健(検)診実施機関からの電子情報による受領、個人の健(検)診情報の一元化、転出入時の市町村間引継ぎが可能となるようシステムを整備した。	・マイナンバー制度における情報連携とPHR(パーソナルヘルスレコード)…個人の健康・医療・介護に関する情報を一元的にまとめることで、個人で管理・活用できる仕組みづくりの一環として健診結果の提供ができるようになり、今後の受信者の向上と感染防止対策に効果が見込まれる。
	計				267,570,248		